

平成29年12月25日
関 東 農 政 局

平成29年度 関東農政局補助事業評価（再評価・事後評価）技術検討会（第2回）
議事概要

- 1 開催日時 平成29年12月22日（金）14:30～16:45
- 2 場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館11階防災対策室1, 2
(埼玉県さいたま市)
- 3 出席委員 別紙のとおり
- 4 技術検討会の概要
技術検討会の西村委員長による議事進行のもと、事業実施主体からの情報提供等を基に作成した農業農村整備事業等再評価地区別資料（案）及び農業農村整備事業等事後評価地区別結果書（案）について農政局より説明した後、質疑応答及び評価内容に関する議論を行った。

○対象地区

- ・再評価 4地区
農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業）飯富岩根地区
農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業）大貫地区
農業競争力強化基盤整備事業（農地整備事業）世良田地区
農村地域防災減災事業 筒川3期地区
- ・事後評価 4地区
かんがい排水事業 大正用水地区
畑地帯総合整備事業 借宿生子地区
畑地帯総合整備事業 明野地区
経営体育成基盤整備事業 万力地区

委員からの主な意見は次のとおり。

○再評価

- ・大貫地区について、水稻の更新効果における単収増加分について、数値を再確認してもらいたい。
- ・筒川3期地区について、関連事業で実施された取水口の位置等が見にくいため、見やすい図に修正してもらいたい。

○事後評価

- ・借宿生子地区について、ねぎについては、防除機械及びねぎ収穫機の導入により機械経費が節減されていると思われるが、その他の作物の状況について確認してもらいたい。
- ・明野地区について、地域外及び農業外分野の企業からの農業参入企業があることについて地区別結果書に追加すべき。
- ・万力地区について、地域内での耕畜連携は非常に重要であり良い取り組みであるため、WCS（稲発酵粗飼料：ホールクロップサイレージ）用稲の導入に関する説明の前に、地域の畜産業の動向について説明を追記すべき。

5 今後の予定

今回の委員からの意見等を踏まえ、平成29年2月5日に第3回技術検討会を開催予定。

別紙

平成29年度 関東農政局補助事業評価（再評価・事後評価）
第2回技術検討会 出席者委員

平成29年12月22日

氏 名	所 属
[技術検討会委員]	
小 倉 久 子	環境パートナーシップちば事業部長
上 岡 美 保	東京農業大学国際食料情報学部教授
中 村 哲 也	共栄大学国際経営学部教授
西 村 拓 ※委員長	東京大学大学院農学生命科学研究科教授